

# GSS GUI バージョン 1.0 のパスワード回復手順

## 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Global Site Selector ( GSS ) GSS GUI バージョン 1.0 のパスワード回復手順について説明します。

注: パスワードの回復がある時点で失敗する場合は、CLI から **gss restart** コマンドを発行します。このコマンドを発行すると、このドキュメントのステップ 1 に戻ります。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

## [ステップバイステップ手順](#)

管理者が GSS 上の GUI の管理ユーザ名とパスワードを忘れた場合は、以下の手順を実行します。

1. CLI にプライマリ Global Site Selector Manager ( GSSM ) の管理者としてログインします。
2. GSSM 上で **gss status** コマンドを発行します。出力には GSS Manager – primary と表示されるはずです。
3. CLI で「**cd ../apache**」と入力します。
4. ファイル **httpd.conf** をテキスト エディタを備えた外部デバイスに FTP または SCP 送信します。
5. 外部デバイスで、**httpd.conf** を開きます。 **AuthUserFile/cisco/merlot/safe-state/http-users** を **AuthUserFile/cisco/merlot/etc/http-users.default** に変更します。

6. FTP または SCP 経由で編集したファイルを GSS に戻します。注: ファイルが正しいディレクトリに戻されたことを確認します。
7. `show processes | grep httpd | killall -HUP httpd` コマンドを CLI で発行します。
8. GUI にログインします。ユーザ名は `admin`、パスワードは `default` です。
9. GUI で [Tools] -> [User Administration] -> [Edit] を使用して ( 管理者アイコンを選択して )、管理者パスワードを変更します。[Tools] の下にデフォルト ページとして表示される [Change Password] メニューは使用しないでください。
10. CLI で `gss restart` コマンドを発行して、GSS に新しい管理者アカウントを使用するように強制します。新しい管理者パスワードを使用してログインする前に、次のコマンドを入力する必要があります。再起動が完了するまで数分かかる場合があります ( プロンプトがすぐ戻ってくる場合でも )。この間の現在のステータスを確認するには、CLI で `gss status` コマンドを発行します。注: GSS が再起動中は、ドメイン ネーム システム ( DNS ) の問い合わせに応答しません。
11. ステップ 9 で入力したユーザ名とパスワードでログインします。

## 関連情報

- [コンテンツ ネットワーキング ダウンロード \( 登録ユーザ専用 \)](#)
- [コンテンツ ネットワーキング デバイス ハードウェアに関するサポート \( 英語 \)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)